

# 街を行く

第148回 高円寺 Kouenji

## 街のルーツを知らなかった？

小生が社会人なりたての頃(40年以上前になります…)この街に住んでいました。他の場所に移り住んでからも、仕事を含め何度か訪れてはいますが、今回はかなり久しぶりの高円寺です。

街は全体的にきれいに整備されています。しかし、街そのものが醸し出す人間くさい独特の雰囲気は相変わらず、昔の街の風景をありありと思い起こしてくれます。駅前再開発で街全体のイメージが変わるケースが多いなか、ここは違いました。

とくに駅を挟んで北と南に広がる商店街と路地裏に面影が多く残り、とりわけ小生が住んでいた北側の「庚申通り」と「あづま通り」の二大商店街も昔と同じ賑わいです。小生のアパートを斡旋してくれた不動産屋さんを探すと、残念ながらありませんでした。若い当時の住まいは、遊ぶお金欲しさに多少なりとも家賃を抑えたいと迷わず風呂なしアパート(昔は珍しくありませんでした)を選んだわけですが、仕事が終わるのが遅く、飲みにも繰り出していたせいで銭湯の閉店に間に合わず大変苦労したのを覚えています(ちなみに今はその風呂屋はなくマンションが建っていました)。

もう一つ困ったと言えばクリーニング店です。ワイシャツを出したり取りに行ったりする時間帯と生活のリズムと絶妙に合いませんでしたね。

昔話が長くなりましたが、今回は良くも悪くも当時小生のなじみ深い北側でなく、南側を歩いてみることにしました。一番の驚きは「宿鳳山・高円寺」です。皆さんご存じでしたか？この街の名の



イメージ通りの高円寺と、静寂に包まれた新緑の高円寺。

由来のお寺が存在し、現存もしていたのですよ。境内に入ると静寂さに包まれ、本当にここはあの高円寺?と誤ってしまいました。寺の建物をみると屋根瓦に葵のご紋を発見。それではと調べると、徳川3代将軍家光(大河ドラマ「どうする家康」の孫ですね)が鷹狩りに来た際、特別扱いせず普通の客人としてもてなした住職が気に入られて、それからというもの必ず立ち寄るようになり庇護を得たとのこと。結果的には良かったですが、そうでなければ大事でしたよね。家光の度量の大きさと住職の何物も恐れぬ胆力を示すエピソードなのでしょう。もっとも、へそ曲がりの小生は信じませんがね。いずれにしても高円寺で大発見でした。

話の詳細は別として、高円寺の名前の由来も知らんのかと読者からお叱りを受けるかもしれません。たしかに勉強不足を痛感します。ですが、あえて下調べをせず直感的に街を探索するのが本

連載のスタイルで、だからこそ歴史を紐解く旅になることが多くなるのです。また本連載では(名物とは限りませんが)訪ねた先で思いもよらぬご馳走にありつけることが多いですね。空腹を満たすため何気なく入った店がラッキーな事に当たり続きなのです。

そろそろマスクを外し春の新鮮な空気を楽しみながら街を行きたいところですが、もう少しマスクをつけた旅は続きそうです。

### 南 一 弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役役に就任。